

「脳卒中患者に携わる看護師が実践する口腔ケアの定着に向けて」について

研究の概要

A 病棟では、脳卒中患者を多く受け入れており、意識障害や麻痺等により、自ら口腔ケアを行うことが困難な患者が多くいます。そのため、看護師による口腔ケアを各勤務 1 回以上実施することを目標としています。しかし、これまでの口腔ケア実施率は十分とはいえず、意識障害により開口への協力が得られない患者など、口腔ケアの実施に難しさを感じる場面もありました。また、看護師によって口腔ケアに関する知識や技術に差があることが課題となっていました。そこで、A 病棟看護師を対象に、口腔ケアに関する勉強会を実施し、勉強会前後のアンケート調査および口腔ケア技術チェックを行います。

本研究では、看護師の口腔ケアに対する認識や実施状況、困難感および技術の変化を調査し、患者の状態に応じた口腔ケアの実践につながる教育方法について検討します。

研究の目的

本研究は、A 病棟における看護師の口腔ケアの実施状況や困難感を明らかにするとともに、口腔ケアに関する勉強会を実施することで、看護師の口腔ケアに関する知識・技術の向上を図ることを目的としています。

また、勉強会前後のアンケート調査および口腔ケア技術チェックの結果を比較することで、患者の状態に応じた口腔ケアを実践するために有効な教育方法を検討し、今後の口腔ケア実践の定着につなげることを目的としています。

本研究への参加について

本研究への参加は自由意思によるものです。研究への参加を希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出ください。研究への参加を拒否した場合でも、勤務上の評価や人事上の不利益を受けることはありません。また、研究への参加に同意した後であっても、研究期間中はいつでも参加を撤回することができます。なお、研究結果を学会発表や論文等で公表する場合には、個人が特定されることのないよう配慮します。

調査する内容

本研究では、以下の内容について調査します。

1. 看護師経験年数 2. 口腔ケアを実施するタイミング 3. 口腔ケアに要する時間 4. 口腔ケアを必要とする理由 5. 現在行っている口腔ケアに対する満足度 6. 口腔ケアを行う上で困っていること 7. 口腔ケア技術チェック（15 項目）アンケートは無記名で実施します。

口腔ケア技術チェックは、A 病院で使用している口腔ケア技術チェック表を用いて、「できる」「できない」の 2 段階で評価します。収集したデータは、研究目的以外には使用しません。

対象となる人への利益・不利益

1. 利益

本研究に参加することで、口腔ケアに関する知識や技術を学ぶ機会が得られます。また、患者の状態に応じた口腔ケアについて実践的に学ぶことで、日頃の看護実践を振り返る機会となることが期待されます。ただし、本研究への参加によって直接的な利益が得られることを保証するものではありません。

2. 不利益・負担

本研究への参加に伴い、アンケートへの回答や口腔ケア技術チェック、勉強会への参加のために、時間的な負担が生じる可能性があります。また、口腔ケア技術チェックにより、自身の知識や技術について評価されることに心理的な負担を感じる可能性があります。そのため、研究結果は個人が特定されないよう匿名化して取り扱い、研究への参加・不参加や研究結果が勤務上の評価等に影響しないよう配慮します。

研究期間

研究実施許可日～2026 年 12 月

アンケート収集期間

2025 年 12 月～2026 年 2 月

学会発表

2026 年 10 月 第 22 回中国四国看護研究学会 発表予定

研究責任者

国立病院機構東広島医療センター

5 病棟 副看護師長：末永 弘美

問い合わせ先

国立病院機構東広島医療センター

〒739-0041 東広島市西条町寺家 513 電話： 082-423-2176（代表）

国立病院機構東広島医療センター 5 病棟 副看護師長 末永 弘美